

シリーズ

開帳の思い出

三十三年に一度の御開帳がいよいよ今年(四月五日)になりました。今回は、生まれてから庄田の在で、過去をよく知る松本睦子様に「開帳の思い出」をお聞きしました。

御開帳まであと数ヶ月になりましたが、松本さんは次で御開帳を経験されるのは何回目になりますか？

松本さん—今回で三回目になります。人生三回も御開帳に出会えるなんて思ってもみませんでした。足は悪くなりましたが、元気でいられるのはありがたいことだと思います。

年齢からすると一度目は二〇歳の時、二回目は五十三歳の時ですね。まず一回目はどのような形でお参りされましたか？

松本さん—一回目(昭和二十三年)の時は踊りを披露しました。嵐草小夜子さんと一緒に踊りました。当時は娯楽も少ない時代でしたが、各地で青年団が盛んで演芸会をしていました。庄田には武久充利さんといわれる踊りの先生がおり、自分もそこに加わっていました。毎晩のように踊りを教えてもらいに行くのが楽しみでした。開帳当日も多くの人が喜んでくれてとても楽しかったです。当時は若かったものです。

二度目のご開帳は？

松本さん—昭和五十六年の前回は、御詠歌と舞踊をしていました。

確かその前年あたりから始められたのですよね？

松本さん—御詠歌は開帳の前年から

御詠歌隊が結成され、私も「御詠歌を始めないか？」と誘われてお寺へ行ってみました。すると居間に入りきれないくらいの方が御詠歌をされました。稽古を始めたころは難しかったけど、御詠歌が好きだしみんなと集まって練習するのが楽しかった。叱られながらも辛いと思ったりは一度もないです。開帳には楊柳(ようりゅう)の御詠歌では有名な曲のひとつ、「天が下」があめがした、のフレーズで始まる。をお唱えすることになり、そればかりひたすら練習しました。私はバイクに乗るのですが、バイクに乗る時もお唱えしてましたし、暇さえあれば練習してました。とにかく楽しかったです。「あめがした、あめがした」と楊柳を練習していたところ開帳当日はあいにくの雨になってしまいました。これは今でも笑い話になっていますし、今回は楊柳をしないほうがいいのかもかもしれませんね(笑)。

松本さん—舞踊とは宗教舞踊と言っ



前回の開帳 (昭和 56 年)

て御詠歌に合わせてするものです。青年団でやっていた踊りとは違うものです。青年団で踊りをやっていた縁で岡山より小山先生という先生から誘われて舞踊のほうもやっていました。開帳の時には宗教舞踊とは別に、余興としてヤットン節という面白い踊りを教えてもらい披露しました。みんなを笑わせる面白いもので、爆笑を買い、とても楽しかったのを覚えています。お薬師さまの顔は覚えていましたか？

松本さん—お薬師さまを拜ませて頂いたのは踊りももちろんですが、御詠歌のことで手一杯で、あまり記憶は定かではありません。今度はじっくり拜ませてもらいたいと思つていま

ずいぶん長く御詠歌をされてこれられていますか、これまで続けてこられていかがですか？

松本さん—そうですね、生きていますと嫌な事や辛いことが誰しもたくさんあると思いますが、私は不思議と御詠歌をやっているときは嫌なことはすべて忘れま。本当に何も考えずに、お大師様はありがたいと思えています。

それでは最後に、今度の御開帳への思い出や、皆様へのメッセージをお願いします。

松本さん—はい。とにかく三回も御開帳に立ち会えるとは思ってない、の一言です。多くの方に御薬師さまを拜んでもらいたいですし、立派な開帳が迎えられることを心より祈念しております。

お話しありがとうございます。

朝日寺での1年

若松理紗

初めまして。若松理紗と申します。この度縁あって慶隆副住職と夫婦となり、朝日寺に入らせて頂きました。

私達は昨年(二月二十三日)に朝日寺にて東寿院の津守密乗さんの戒師のもと結婚式を挙げさせて頂きました。当日は薬師如来様のご



加護のもとでしょうか、天候にも恵まれ、家族やご近所の方も参列して下さる中、盛大に行うことができました。とても幸せで、私達夫婦にとつて忘れられない日となりました。また、以前よりたくさんの方から祝福のお言葉を頂きました。この場をおかりして厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、私達は一昨年の十一月に入籍を済ませておりましたので、それ以来お寺の行事等に関わらせて頂きました。まだ会社勤めをしながらで少しではありますが、約一年間皆様と一緒に朝日寺で過ごし感じたことをお話しさせて頂けたらと思います。

まずは朝日寺の代表的な行事である投げ銭供養です。昨年は約三百人の方がお参りくださいました。私は記録係として携わったため、たくさんの方の色々なお姿をお見かけしました。前日の時折激しく降る雨の中で準備を手伝って下さった総代の皆さん、当日は、本堂への参拝やお祈りなどお参りの方、お接待をされている方、欠席するからと門で手を掌わしていらつしやる方、投げ銭を持つて「まだ？もういい？」と楽しそうなお子ども達、御詠歌と一緒に唱えている方、思い出話や近況報告を合う方などです。どのお姿にも朝日

寺を大切にしてくださいというお気持ちやご先祖様を慈しんでいるお気持ちが垣間見えており、とても嬉しく、また心強く感じました。

次に花まつりです。花まつりでは特に婦人部を始めとする女性の方々の活気や力強さを感じました。数日前からたくさんのお花を持ち寄って下さいました。どのお花も瑞々しくとても綺麗で店先に並んでいるお花の方が見劣りするぐらいでした。前日からはおうどんのお接待や甘茶の準備を行いました。大量の下ごしらえでしたが手際良くして頂き、笑い声の飛び交う中数時間で終了しました。ありがとうございます。

順番は前後しますが、初めて皆様の前に出させて頂いたのは二月三日の節分会です。豆まきや福引きが楽しそう、とてもほのぼのとした気分になりました。また、初めて顔をださせて頂いたこともあり、たくさんの方から声をかけて頂きました。直接ご挨拶する事ができ、皆様がとても優しくして下さいましたので私も楽しく過ごせました。

最後になりましたが、普段はお寺で法事等のお世話をさせて頂いており、檀家の皆様の顔を覚えていたり守っていただきますよう、よろしくお話し申し上げます。